

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：令和3年9月27日（月）13：30～14：40
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：  
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
横山係長、久川審査総括係  
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一廃炉推進カンパニー 担当2名
5. 要旨：
  - 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の報告があった。
    - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度について
      - ✓ 降雨等の影響により一時的な変動があるものの、横ばい傾向であること。
    - 原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果について
      - ✓ 放出による被ばく線量は、年間0.05 $\mu$ Sv未満であり、年間30 $\mu$ Svと比べて十分小さく、先月の結果と比較しても大きな変化がないこと。
  - 2021年7月15日に設備不具合が発生し、8月3日より仮設ポンプを用いて測定をしていた港湾口海水放射線モニタについて口頭で以下の説明があった。
    - 9月24日12:00に新しいポンプを設置し、連続測定が可能な状態へ復旧した。
  - 原子力規制庁は、上記の説明内容を確認した。
6. その他  
資料：
  - 環境線量低減対策スケジュール
  - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
  - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2021年8月）
  - 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2021年8月評価分（詳細データ）

以上